

しっていますか？ シックスクール

子どもの環境を考える親の会
連絡先 0134(25)1182 or(27)5100
e-mail sato-jin@star.odn.ne.jp
No.87 2011年6月
会報は皆さんの会費によって作られています。
郵便振替 02760-4-77134 1100円/年



夏になると殺虫剤を使う家庭が増えてきます。室内に、花壇に、畑に…。
殺虫剤(農薬)は、子どもにどんな影響を与えるのでしょうか。

胎児の殺虫剤被ばく問題 I 有機リン農薬とADHD

カリフォルニア州のサリナス母子コホート健康評価の結果を分析したところ、妊娠中に有機リン系農薬に暴露した母親から生まれた子は、暴露していない子に比べて、5年後のADHDの兆候がより強いことがわかったそうです。この結果は、胎児や乳幼児は、有機リン系の殺虫剤(農薬)を解毒する酵素が少なく、力も弱いために、神経系に悪影響が及んでしまうのではないかと推察されています。

殺虫剤、特に有機リン系農薬に高いレベルで暴露していることがわかった北部エクアドルのコミュニティの住民らが、子どもの比較調査を行ないました。研究対象者グループのひとつは胎内での発達期間中に殺虫剤に暴露したグループ、もうひとつは暴露しなかったグループ。テストでは、手先の器用さから記憶力、知能までを測定。その結果、妊娠中に母親が殺虫剤に暴露した子どもたちは、6～8歳に達したときに著しい認識力の欠陥、思考力、学習力、及び記憶力が約1～2年遅れていたそうです。

気になるのは、妊娠中に殺虫剤に関連した健康被害を報告した母親が一人もいなかったということです。つまり、母親の受けた暴露は非常に低レベルであり、そのような低レベル暴露でも胎児の発達に有害影響を与えるということです。この影響は、父親が殺虫剤に曝露する仕事をしている子どもたちにはなかったそうです。

ADHDの病因はまだよく分かっていませんが、ADHDの子どもに見られる特徴は、鉛やPCB類に曝露した子どもや動物にも観察されるそうです。また、臭素化難燃剤、ビスフェノールA、フタル酸エステル類など他の環境化学物質全てが、最近の研究によってADHDに関係している可能性があるのではないかと言われています。

北海道 フッ素洗口用CD学校に配布！

♪フッ素でつよい歯、フッ素パワーでピカピカ～♪フッ素でどさんこつよい歯～
これは、フッ化物洗口を推進する『フッソングで歯ミング北海道フッ素ソング』というCDです。北海道と北海道歯科医師会が合同で75万円もかけて1000枚作成しました。



フッ化物洗口は30秒～1分間しなければならないため、子どもが飽きないようにと、約1分間の曲となっていて、音楽に合わせてフッ素うがいさせるのが目的だそうです。このCDは、すでに、40箇所の小中学校、幼稚園、保育所に配布されています。北海道歯科医師会のウェブサイト、北海道のホームページからこの2曲の音楽ファイル(mp3、wav)と歌詞・楽譜(pdf)がダウンロードできます。

このやり方は、原子力発電推進のCDや副読本の作成と同じ構図。フッ化物洗口は、殆ど効果が無いばかりか、人体に悪影響があります。このような、非人道的金儲けを学校で子どもたちを使ってやるのが許されるのでしょうか。高橋知事は、原発といい、フッ素といい子どもたちのからだを蝕む政策をどのように考えているのでしょうか。母親である高橋知事の場合は理解に苦しみます。

道は、09年に教育現場でのフッ化物洗口推進を条例に盛り込んでしまいましたが、「安全性に問題がある」という意見があり、道議会で議論された経緯があります。そのため道は、保護者の同意が得られた場合にのみ実施するよう各市町村に要請していますが、学校内で受ける子と受けない子がでた場合どうなるのでしょうか。また、保護者に情報(知識)が十分に無い場合、子どもは被害者です。

連絡先・意見 保健福祉部健康安全局健康づくりグループ 011-204-5117

【参考資料】化学物質問題市民研究会 HP 北海道新聞 北海道HP 北海道歯科医師会 時事ドットコム 自然と科学なんでもニュース 阿修羅 HP 週刊金曜日845号参考資料 文科省・原子力安全委員会との交渉報告(FoEブログ)国際環境 NGO FoE Japan ウィキペディア 赤旗新聞 あとみん-原子力・エネルギー教育支援情報提供サイト 定年オジサンをつぶやきHP toss ランド HP (財)日本生産性本部 北海道消費者協会 日本消費者レポート 1485

いまだに収まらない放射能汚染 食の安全は？



きのこ “風の谷のナウシカ”

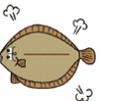
シイタケの出荷規制が続いています。他の野菜類が規制解除になっているのに、なぜシイタケだけが次々と高濃度の放射能が検出されるのでしょうか。



土壌中に蓄積した放射性セシウムは、森林生態系に取り込まれ、キノコに特異的に濃縮しているというのです。キノコは本来セシウムを吸収しやすい性質を持つそうですが、なぜキノコにセシウムが濃縮されるのか詳細は不明だそうです。

映画「風の谷のナウシカ」の中に登場する「腐界」は、巨大なカビやキノコの森。ある生物がだす有毒な臭気を人が吸い込むとガンになってやがて死ぬため、誰も「腐界」に近づかない。ナウシカは「腐界」の生き物を研究し、やがて「腐界」は放射能で汚染された大地を浄化していることを突き止める……。キノコが豊富な森の木は、生長が早い。大地の栄養分を木に供給しているのだそうです。それだけでなく、人類が出した放射能という毒物を自らに溜め込み大地を浄化しているのです。

海へ捨てられた放射性物質 薄まるから大丈夫？



今でも海に漏れている大量の放射性物質が、何十キロもの沖合いで基準値を超えて検出されています。「薄まるから大丈夫」と言っていた御用学者。本当でしょうか。実は、濃度が違う液体どうしは密度がちがうため容易に交じり合いません。真水などは海水の上に浮き上がり、かなりの時間混じらず漂っているそうです。福島沿岸の汚染はやがて茨城・千葉へと下っていき、沖合いに流れた場合は親潮にのって広大な海洋汚染につながり、魚群が潮目にそって集まると、遠洋漁業にも影響がでるそうです。半減期の長い放射性物質は食物連鎖による「生物濃縮」によって、より濃度が高くなります。



東京海洋大学名誉教授の水口賢哉氏は、今回の海の汚染は「空前絶後だ」と表現しています。

「食べないにこしたことはない…」

「いったい何を食べたらいいのでしょうか？」という相談を受け困惑しているというのは『たんぼぼ舎』共同代表の鈴木千津子さん。鈴木さんは「本音を言えば、セシウムの量が基準値より低くてももう「食べないにこしたことはない」と断言できる状態になってしまった」と言います。さらに「ハウス物も露地物も関係ない。放射能はハウスにも簡単に入り込みますから。もう、私たちが生きている間には完全にきれいな食品は失われたと思っています」と話しています。会報86号にも書きましたが、残念ですが、私もそのように考えています。

現在のようなゆるい基準値を「安全」だとして、低濃度汚染の食品を食べ続ければ、およそ10年後に私たちは、現在のチェルノブイリ被ばく者たちと同じ問題に苦しむことになるでしょう。さらに、政府や、御用学者たちによって、過去の原爆症や水俣病、アスベスト疾患のときのように、「(原発事故との)因果関係は認められません」と言われ、補償も受けられず見捨てられることになるのではないかと危惧します。原発推進派と国のデタラメを信じていては、自分はもちろん子どもたちを守ることはできません。

福島のプルトニウムがハワイで検出？

米国環境保護局のデータベースによると、3月下旬から4月初旬にかけて行われたグアム、ハワイ、米国西海岸での計測において、異常な濃度のプルトニウム・ウランが検出されていたことがわかったそうです。正確な値までは分からないというものの、3・11以降の突然かつ大幅な濃度上昇は、過去20年間一度もなかったそうです。

アメリカでプルトニウムやウランが飛んでいる以上、日本の空気中には少なくともそれよりも高い濃度で飛んでいることは確実だという見方を海外の専門家の間やネットではしています。気づかず体内に入れてしまえば致命的なリスクをおひますが、東電も日本政府もプルトニウムやウランについての情報をだしていません。

特集 教師と子どもを洗脳する原子力教育の実態

文科省 原子力教育支援事業の実態 “原子力発電PR事業”に税金を投入！

文部科学省は、知らないことが不安の原因だとして、莫大な予算を組み、原子力教育を推進しています。税金でたくさんの教材が作られ、無料で全国に配布されています。『総合学習の時間』で紹介されるウェブは、東京電力のPR館、原子力発電所、電力会社などが殆どです。

他に、原子力に関する副読本の活用方法などの教員向けセミナー※1、副読本に係わる副教材の作成、優れた作品に文部科学大臣賞が交付される課題研究コンクールや原子力ポスターコンクールなどの事業があります。さらには、副読本の印刷、副読本を用いた授業の実施のための実験器具の購入や施設見学等の費用については、「原子力・エネルギーに関する教育支援事業交付金」※2を活用し、すべて無料にしています。これらの交付金は、電力消費地域(原子力発電所がない都道府県)の「原子力の正しい知識の普及を推進するため」として、交付金の限度額を増額するなど、お金で原発を推進しようとしています。

さらには、電気事業連合会顧問が会長を務める日本原子力学会の原子力教育・研究特別専門委員会は、教科書の記述を詳細に調べ、96年から3度にわたって、学習指導要領にまで注文をつけていたそうです。文科省は08年3月に学習指導要領を改定し、中学校理科の解説書で初めて原子力発電所に詳しく言及しましたが、放射線の危険性などには触れていません。

- ※1 原子力・放射線に関する教育職員セミナー(基礎コース)は、公益財団法人日本生産性本部が主催し、2010年度は副読本を使った授業を日本原子力文化振興財団が30校で行いました。
- ※2 文部科学省の委託。市町村に対し、小学校、中学校が行う原子力・エネルギーに関する事業に助成をしている。

☆小中学校用 “原子力に関する副読本” のバラマキ



小学生用の「わくわく原子力ランド」、中学生用の「チャレンジ！原子力ワールド」は、原子力は絶対安全と教える教材で、全国の小中学校などに約3万部を配布しています。発行したのは、日本生産性本部・エネルギー環境教育情報センターです。

教材の制作委員会には、文科省の役人、小中学校の教員と並んで、電力会社の連合体である電気事業連合会の広報部長が名前を連ねています。副読本を提供するHPは、文科省の委託を受けた日本原子力文化振興財団が運営。同財団は原子力業界団体が1969年につくった広報団体です。この団体が、小中学生向けに作製した上記の副読本には、「もし地震が起きたとしても、放射性物質がもれないよう、がんじょうに作り、守られています」、「大きな津波がおそってきたとしても、発電所の機能がそこなわれないよう設計しています」などと記載されています。

今回の原発事故をうけて、副読本の記載内容について、高木文部科学相が、一部を見直す方針を明らかにしましたが、今年度中に改定したものをまた発行したいと言っています。

今回の原発事故をうけて、副読本の記載内容について、高木文部科学相が、一部を見直す方針を明らかにしましたが、今年度中に改定したものをまた発行したいと言っています。

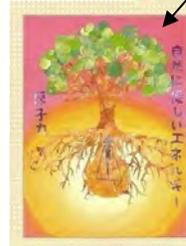


資源エネルギー庁が日本生産性本部エネルギー環境教育情報センターに、小学校高学年向けに作らせた副教材DVD『ひらけ！エネルギーのとびら』

福島第一原発の映像(福島第一原発の職員が登場し、施設の内部を案内し、「日本の原発は格納容器などに守られ、常に放射能も監視しているから安全だ」と強調する画像が入っているとして、学校関係者への配布を、震災直後に中止。冊子なども含め約3千万円をかけ、約1万枚作製していた。希望した小学校などに、2月下旬からすでに約7500枚配布済みだという。



株)日刊工業新聞社発行の原子力に関する総合専門誌『原子力 eye』



原子力ポスターコンクール児童作品

毎号表紙右下に児童生徒が描いた原子力ポスターコンクール(文科省と経産省が主催)の作品を掲載している。この絵には「自然に優しいエネルギー原子力」と子どもが書いています。

☆あーとみっく 2010 デジタル作品コンテスト = イラスト、アニメ好き若者向け

財)日本原子力文化振興財団が開催する「人と原子力」のつながりをアートするコンテストだそうです。「あーとみっく」は、芸術を表す Art と原子を表す Atom をあわせたとのこと。

テーマは、「人と原子力」。遠く離れた「人」とのコミュニケーション、アニメやCGの創造にも、電気をつくる原子力が一役かっている」とし「人と原子力のかかわりをアートしませんか」と呼びかけています。

昨年行なわれたあーとみっく 2010 シンポジウム「デジタルメディアが原子力PR戦略を変える」で挨拶をしたのが、あのウソつき御用学者の諸葛宗男(日本原子力学会社会・環境部会長)です。震災後のテレビでは、東大特任教授という肩書きででていました。

作品を作るための参考サイトには、東京電力「私は原子力発電所で働いています」というのもありましたが、このサイトは震災後、開かなくなりました。



2010年受賞作品

悪魔に魂を売った向山洋一と TOSS(トス)

☆TOSS 教員発言 「高レベル放射性物質は自宅の庭に埋めても安全です」

TOSSとは、元小学校教諭でエネルギー教育全国協議会の座長・向山洋一氏が率いる、全国の教員の集まり。会員は全国6000人ほど。1980年代後半に教育界で始まった「教育技術の法則化運動」が前身。TOSSのウェブ『TOSS ランド』には、授業、教育の技術や指導法の実例を紹介したり、セミナーやサークルごとに研究会を行い、教師力向上を謳っています。しかし、一方では、エネルギー教育全国協議会などで大々的な原発推進教育をやっています。10年には、エネルギー教育全国協議会が主催する『原子力模擬授業全国大会』で、日本理科教育支援センターの小森栄治氏が「原子力発電をどう考えるのか？正しい意思決定には正しい知識が必要。それを育むのが事実や判断の仕方をきちんと教える『原子力教育』だ」と話し、座長の向山氏は、「(原子力発電所の)稼働率低下には正しい知識を持たないために、新潟中越沖地震によって被災した柏崎刈羽原子力発電所を、安全が確認されてもなお、2年間も稼働させないという現実があります。この背景には正しい知識を持っていないために、日本国民全体を覆っている原子力発電に対する“拒否感”の存在があることは否めません。こうした実態を解消するためにも、事実に立脚した正しい知識を子どもたちはもちろん、学校や地域にも広げて欲しい」と呼びかけるなど、なりふり構わぬ原発推進発言をしています。

そのTOSS会員の先生の小学6年生向け授業『どうする？高レベル放射性廃棄物』では先生が、「高レベル放射性物質は自宅の庭に埋めても安全です」と言ったそうです。その先生はエネルギー教育全国協議会主催「原子力教育授業全国大会」において2年連続、優秀賞を獲得しているとか。『TOSS ランド』の原子力・放射線関連のページから現場の先生方が登録した授業技術を見てみると、原子力発電所のリスクという授業技術では、「隕石落下での死亡率」「入浴時での死亡率」「たばこの死亡率」などと比較して、原子力発電所の事故で死亡する確率がとにかく低いことを強調しています。他にも、「原子力平和利用の夢」など原発推進の授業がたくさん紹介されています。TOSSの代表である向山洋一氏の協議会では、日本全国の原子力発電所などの見学会を行ったり、『原子力教育模擬授業全国大会』は電気事業連合会が協力するなど、電力会社とズブズブの関係にあるのがわかります。

事故が起きた今、TOSSの原発推進授業案や講座情報の「エネルギーシンポジウム」が次々と削除されています。

身近なところで原発推進！市民をも洗脳



☆ 日本生産性本部と日本消費者協会の関係

(財)日本生産性本部の設立と同時に新しい組織が4つ誕生しました。その一つに、密接な提携団体として(財)日本消費者協会があります。(社)北海道消費者協会は、その初代会長が、生産性北海道地方本部の初代会長でもあった北海道電力会長です。(社)北海道消費者協会は、毎年『消費生活リーダー養成講座』を開催し、(財)日本エネルギー経済研究所などから何人も講師を招き原子力の必要性、安全性を講義します。こうして、消費者のリーダーとなる女性たちを洗脳し、原発推進派に仕立て上げていくのです。

元・日本消費生活アドバイザーで、現在原子力委員会委員、NPO法人あすかエネルギーフォーラム※3顧問の秋庭悦子氏は、「原子力をめぐる様々な課題の中で、最も大切なことは国民の理解、納得であり、その積み重ねで信頼を得ることです。持続可能な暮らしを支える原子力について、一緒に考え、安全・安心を願う国民の声を政策の中に活かしていきます」と言っています。

さらに、秋庭氏は北海道電力の原子力PRセンター『とまりん館』を視察して、「原子力発電については、とっつき悪さをわかりやすく親しみをもてるように努力しているのが『とまりん館』。原子力発電の説明はもちろん、プールや古代土器の展示、工作教室など地元の人たちのコミュニティセンターになっている。絵になるが、頼りにならない風力発電と絵にはならないが、パワフルな原子力発電を考える良い機会となった」とあすかエネルギーフォーラム in 北海道レポートに書いています。そんな、秋庭氏もチェルノブイリ事故のときには、「(原発は)怖い、いやだ」と思う一人の女性だったそうですが・・・。

※3 NPO法人あすかエネルギーフォーラムは、01年に消費生活アドバイザーを中心に活動を開始した団体。全国各地でエネルギートークサロンを開催し、お茶とお菓子でもてなしながら主婦や若い女性に原子力推進教育をしている。

小樽発 5・21 原発学習会 と 泊を止めたい ピースウォーク

小雨が降る中、小樽、札幌、江別、石狩などから約60人の方が参加。学習会では、25年前に起きたチェルノブイリ原発事故と25年後の今起きている福島第1原発事故の概要や、チェルノブイリ、ヒロシマ・ナガサキの事例から福島の子どもたちがどれだけ危険な状態にさらされているのかを知りました。泊原発で事故が起きた場合、想定されることや北海道内の不気味なガンの発生率など内容は多岐に渡り、参加者の皆さんは、真剣な様子で耳を傾けていました。

子ども連れのおかあさんも多く、福島の事故を自分のこととしてとらえていることがわかりました。「小さな子どもがいるが、何に気をつけたらよいか？」などの質問があり、講師は「すでに、北海道にも微量ではあるが放射能が検出されている。雨にあたらないようにするなど、最低限の防護はしたほうがいい。ガンになったりするの確立の問題だが、現状を見る限り、覚悟は必要。せめて、これ以上の被害(環境汚染)をださないために、まずは、原発を止めることが第一」と話しました。



ナビゲーターは
中学校理科教員であ
る当会の事務局長

平時の原子力発電所から出てくる放射性物質で環境が汚れて、近くに住んでいる子どもに白血病が多いという報告があります。そのため一般の人が平時の原子力発電所などから出てくる放射線をあびすぎないように、その限度も決められています。それは1年間に1ミリシーベルト。

福島の子どもたちが危ない！



文科省は、福島県内の学校の子どもに対して放射能の基準を上げ、年間20ミリシーベルトという指示をだしました。「学校を頻繁に移動させることはできない」とし、福島県教育委員会や関係機関に通知したのです。

年20ミリシーベルトは、原発労働者が白血病を発症し労災認定を受けている線量に匹敵します。この基準は、子どもの感受性の高さや食物や土埃などによる内部被ばくを一切考慮していません。平常時に、一般人(大人)の被ばく限量は年間1ミリシーベルトです。緊急時のみ大人で年20ミリシーベルト。その値を、今福島の子どもに当てはめているのです。この発表を聞いたときに、この国は終わったと思ったのは私だけでしょうか。

子どもたちは一刻も早く学校疎開させるべきです。それができないなら、学校に放射線量計を配備し、モニタリング調査を全校で徹底すべきです。同心円でなく、地形や風向きを常に考慮したうえで気象庁は正直に正確な情報をだすべきです。ちなみに、現在の日本の気象庁は情報を隠蔽しているので、私たちはノルウェーやドイツ、オーストリアからの気象情報を頼りにしています。

もぉ～止めて ピースウォーク



牛やトナカイなどの着ぐるみを着たり、防護服に身を包んで、講演会場からピースウォークに出発！



北海道電力前にて
シユビレヒコール

ほくでんは、環境を破壊するな！フルサーマル発電は許さない！
泊原発を廃炉にしろ！

何を考えている！ほくでん！

北電は、5/20福島原発の事故の終息も見られないのに、泊原子力発電所3号機のプルサーマルで使うウラン・プルトニウム混合酸化物(MOX)燃料をフランスから輸入するため、経済産業省に品質検査の申請を行ったと発表しました。北電は、遅くとも2013年度中に同機でプルサーマル発電を実施する考えを示しており、そのためにはこの時期に検査を申請する必要性があったとしています。しかも、泊原発3号機は、定期検査中でありながら原子炉をフル稼働させている「試験運転」が異例の2カ月以上に及び、実際には発電し、電力を供給している状態です。

歩くのは得意よ！

子どもたちの未来を守ろう！

魚や家畜を守ろう！
農家を守ろう！



原発事故ですっかり観光客のいなくなった小樽市内の商店街を歩く

電気不買運動は アンペアダウンから

20A

あなたの家の契約アンペアは何Aですか？
ブレーカーか電気料金の請求書を確認してみてください。
10A 下げるごとに1ヶ月 273円節約できるそうです。インターネットでも申し込みができ、変更量は無料です。但し、アンペアを下げると、例えば電子レンジと掃除機、炊飯器など一緒に使うとブレーカーが落ちることがあります。もちろん落ちたら、どちらかを中止し、ブレーカーを上げればいいだけです。こうして、電気の使用量を減らし「原発いらない」意思表示をしましょう！ このアンペアダウンは、さんざん、オール電化を勧めてきた国も推奨しています(苦笑)
ちなみに我が家は20A。焼肉プレート使用中は他の電化製品は極力使用しないなどの工夫でブレーカーが落ちることを防いでいます。子どもが小さい時にブレーカーが落ちて、突然真っ暗になるのは良い経験でしたねえ…。

福島のおかあさん 佐藤幸子さんのお話を聞く会

「こどもたちを放射能から守りたい」。わたしは30年間百姓をしてきた一主婦です。5人の子供を育ててきました。わたし達は中学と高校しかでていません。数字のことはわかりません。教育を受けていない主婦がわかるように説明してください。子どもたちに生きる大切さを教えてきたつもりです。それが一瞬にして崩れてしまいました。子供を守りたいという気持ちは、どこにいたって、日本中も世界中も一緒です。私たちはこどもたちに普通の生活を戻してあげたい。その願いを遂げさせてください。(4月21日文科省との20mSV交渉での佐藤幸子さん。佐藤さんは、福島市内の小学校の校庭の土を持参し厚労省担当者に渡しました。)

- 6月4日(土) 13:00開場 13:30開演
岩内地方文化センター(北海道岩内郡岩内町字万代51-7) 無料
- 6月4日(土) 16:00開場 16:30開演
余市町中央公民館(余市町大川町4丁目143番地) 協力費 500円
- 6月5日(日) 12:30開場 13:00開演
札幌社会福祉総合センター(大通西19丁目) 協力費 500円

15歳 少女の絶望の叫びが聞こえますか！

4/30 東京電力は、福島県飯舘村(計画的避難地域)を訪れ、集まった住民1300人に対し謝罪と説明会を行ないました。質疑応答の場では、高校一年生の渡辺奈央さんが将来への不安を訴えました。

「私は15歳です。地震だけなら飯舘村でも普通に生活できていたのに原発事故により皆バラバラになった。私は女の子です。将来は結婚して子どもを産む夢を持っています。もしここで被ばくしていたら、夢は潰されます。どう補償してくれるのですか！もっと早く危ないから避難すべきと注意を促すべきではなかったのですか？私だって被ばくしていると思いますよ！」

【海外ニュース】ノルウェーの新聞記事より

http://www.aftenposten.no/nyheter/uriks/article4103117.ece

En ku utenfor hovedkvarteret til atomkraftverkets eier i Tokyo. FOTO: YOSHIKAZU TSUNO/AFP



Bønder og kyr demonstrerte i Tokyo

350 bønder demonstrerte tirsdag utenfor hovedkvarteret til selskapet som eier det katastroferammede atomkraftverket Fukushima Daiichi.

火曜日、350人の農家の人たちが東京電力本社前でデモを行った。「私の我慢はもう終わりだ。原発は農業を徹底的に破壊した」。桃とリンゴ栽培に従事する72歳の岡崎かつおは語った。写真をごらんください。家畜を飼っている農家を含むすべての住民は、多くの地域で、避難したときに家畜を放置しています。サイトの動画を使用すると牛を見ることができま。動物は、寂れた街を歩き回っています。

福島原発事故による海洋汚染

セラフィールドの海洋汚染に迫る数値！

イギリス北西部のセラフィールド。約半世紀、再処理に伴い、放射性物質を含む廃液を海に流し続けてきました。日本も原発の使用済み核廃棄物を再処理するために現地に送り込んできました。今も廃液は海に流され続け、住民や周辺諸国は不信感をもっています。過去に度々、放射性を帯びた溶液漏れ事故を起こし、そのつどイギリス政府は「健康に影響はない」と説明してきました。しかし、アイリッシュ海につながる北海に面したノルウェー、アイスランドは海産物の汚染を心配しています。ノルウェーの環境担当相は「セラフィールドで爆発や火災が起きたら、わが国の環境はチェルノブイリ原発事故の7倍の影響を受けるだろう」とし、セラフィールドの環境団体COREの代表マーティン・フォーウッドさんは「微量とはいえ、汚染魚を食べ続けたら、将来どうなるかわからない」と話しているそうです。

セラフィールド近海では現在、「フィッシュ・アンド・チップス」の材料になるタラから、セシウム137が1キロ当たり10ベクレル検出され、他の魚類や貝類、甲殻類、海藻からも1キロ当たり約1～8ベクレル検出、セシウム以外の放射性物質も複数検出されているそうです。

福島第一原発事故の影響では、3月30日に原発から30キロ沖合の地点でセシウム137が1リットル当たり8.5ベクレルを記録。これは、70年代のセラフィールドの値に迫り、現在の42倍の濃度になっているということです。

水産庁が、自治体や漁業団体の関係者に福島第1原発事故説明会で配布した資料には、魚介類に対する放射性物質の影響について「食物連鎖を通じた生物濃縮・蓄積はほとんどない」「放射性元素は体外に排出されるので、蓄積していかない」などと記述されていたそうです。

専門家の指摘を受け、水産庁担当者は「濃縮はするが、それが蓄積し続けないという意味だった」と釈明。この調子では、今後の海洋汚染の発表も信じられません。

自動車の国内向け放射能測定は万全か



日産が、3月18日から輸出向けの車の放射能を測定し、証明書を発行したとニュースが伝えました。その約1ヶ月後、日本自動車工業会は、国内外において日本製自動車への放射性物質の影響に対する不安の声が高まっているとして、車両の放射線測定を開始。その結果、「各社の製造拠点や車両の積出港の大気は健康に影響のないレベルであり、これまでに測定した車両表面の放射線量は、文部科学省が各都道府県で計測し、原子力安全委員会が「健康に影響を及ぼさない」と評価している数値の範囲内に入っている。また、国際原子力機関(IAEA)の基準に照らして問題無い」と発表しました。

そこで、当会では、トヨタ、ホンダ、日産、スズキのお客様相談センターに質問しました。あなたは、どう読む？
質問は、①製造拠点 ②国内向けの車の放射能は測定しているか。している場合数値はいくらか ③証明書の発行の有無 ④その他 ⑤お客様相談室電話番号(回答は2011,5,17現在)

トヨタ:①相談室では分からず、調べて連絡すると言ったまま連絡なし②していない。準備中。弊社の事業所が所在する地域において、人体に影響を及ぼすレベルの放射線量が計測された事実はない③していない④輸出に際し車両および部品の放射線量と外気を計測。その結果、両者の間には、大きな違いはでない。販売店からお客様にご納車する際の測定に関しては現状を把握したうえで、政府や専門家とも相談しながら、必要があれば対応策を検討していきたい⑤0800-700-7700

ホンダ:①三重県鈴鹿市、さいたま県狭山市②している。自社の測定器にて毎日測定 工場0,1μSv前後、出荷港(名古屋・横浜・習志野・四日市)0,07μSv前後③していない④Hondaの事業所等が所在する地域で、人体に影響を及ぼすレベルの放射線量が計測された事実はなく、現在のところ弊社の製品への影響はない⑤0120-112010

日産:①栃木(エンジンは福島第1原発から約50キロの「いわき工場」で生産)、九州苅田、神奈川横須賀、平塚 ②している。日本自動車工業会の基準案に沿って実施。神奈川県追浜埠頭、横浜本牧専用埠頭、九州苅田工場で放射能レベルの測定。車両の値は、0.03～0.1μSv/h、大気(0.04～0.1μSv/h)と同等のレベル。車5000台に対し10台サンプルで測定。同じく、工場ヤードまたは車両プール等で実施。測定部位は、外板ボンネット中央部・タイヤハウス周辺(4箇所中一つ)・ハンドルの前辺り③していない④事業所等が所在する地域において、人体に影響を及ぼすレベルの放射線量が計測されていない⑤0120-315-232

スズキ:①静岡県浜松市 ②している。御前崎港にて。国内出荷センターというような所でシンチレーション式測定方式を採用し、抜き取りで外板ボンネット中央部・タイヤハウス周辺(4箇所中一つ)・ハンドルの前辺り。数値はわからない③していない④浜岡原発が福島と同じ状態になったら問題だが、現在は放射能汚染の心配はしていない⑤0120-402-253

*日本では、車についての放射線量の明確な基準が定められていないので、現時点ではIAEA(国際原子力機関)の基準に照らし合わせて評価をしている。大気中の数値を基準として、製品に大気の2倍の数値があった場合には除染し、出荷する(日本自動車工業会広報室)。自工会は、船積みされた車両は1隻につき10台の測定を義務づけ、計測箇所の基準を設けた。

小樽市からの輸出車 微量の放射線検出！

ロシア・ウラジオストク港、ナホトカ港に4月以降日本から輸出された中古車などから微量の放射線が相次いで検出されています。さらに、5月17日コルサコフ港に運び込まれた車の一部から自然界の2,4倍の放射線が検出されています。

企業が放射線測定器購入 自主的な検査始まるか？

福島第1原発事故で放出された放射性物質への懸念が広がっていることを受け、放射線測定機器を導入する県内企業が相次いでいる。特に輸出企業は、海外の販売先からの要請で自主的な製品検査をすることも想定。現時点では汚染がないことの「証明書」を付けるといったケースには至っていないが、各社とも今後の放射性物質の拡散や取引先の反応を注視している。

【私の提案】自動車もトレーサビリティ制度を！

食品のトレーサビリティ制度と同じように自動車の『履歴』を納車時にユーザーに渡す制度があると安心です。日産が念のためにしたという放射能測定は、「エンジン部品が福島県いわき市で製造、その部品を使って栃下県の工場がエンジンを作っているために行なった」というものです。こういう履歴があれば、小さな子どもがいる家庭でも安心して車を購入できるのではないのでしょうか。